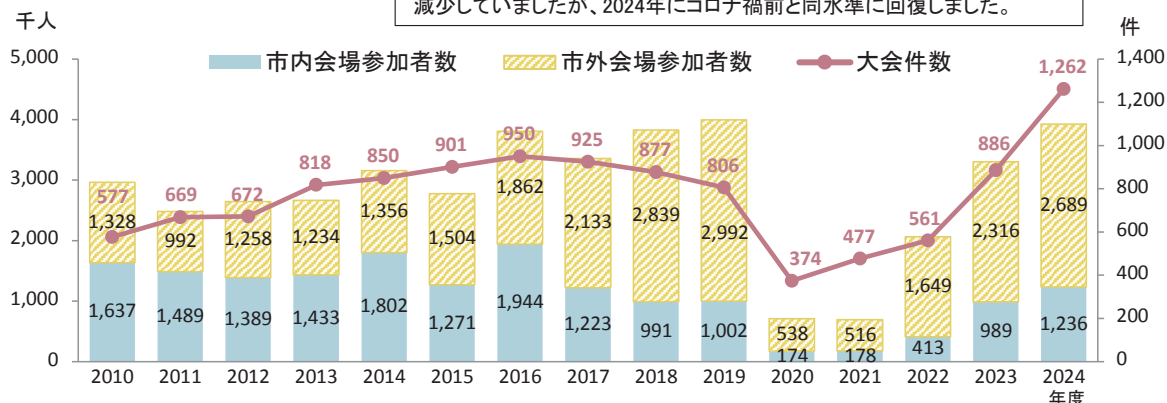


21 観光・コンベンション



●郡山エリアコンベンション開催状況

2010年調査以降、大会件数は過去最高となっています。
市内会場参加者数・市外会場参加者数は2020年以降のコロナ禍で大きく減少していましたが、2024年にコロナ禍前と同水準に回復しました。



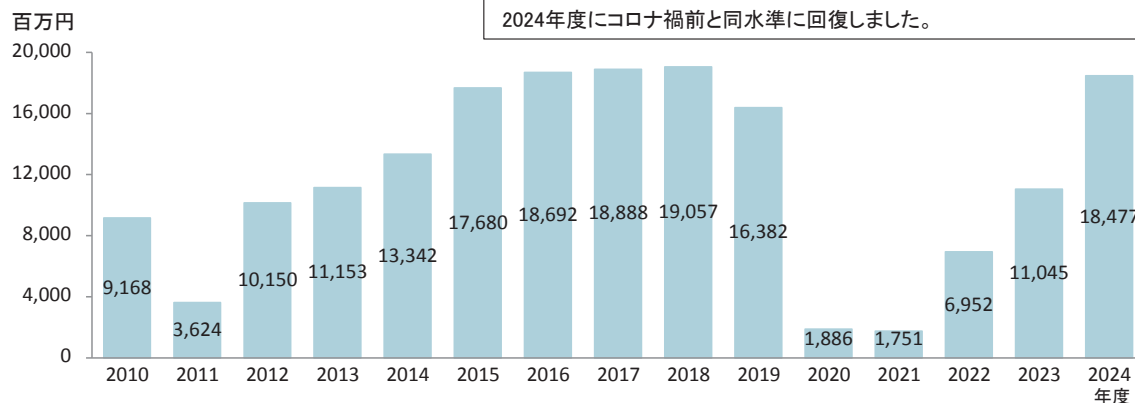
※郡山エリア・・・

ここでの「郡山エリア」とは、(公財)郡山コンベンションビューローを構成する郡山市、会津若松市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、二本松市、田村市、本宮市、大玉村、鏡石町、天栄村、下郷町、檜枝岐村、北塩原村、猪苗代町、西郷村、石川町、玉川村、平田村、古殿町、三春町、小野町の23市町村のエリア

資料：(公財)郡山コンベンションビューロー

●コンベンション開催による経済波及効果

経済波及効果は2020年以降のコロナ禍で大きく減少していましたが、2024年度にコロナ禍前と同水準に回復しました。



※経済波及効果の算定

直接的な消費支出から新たに発生する間接的経済波及効果(原材料仕入れ、雇用の拡大など)とを合わせたもの。

試算方法は日本コンGRESSコンベンションビューローが示す方法

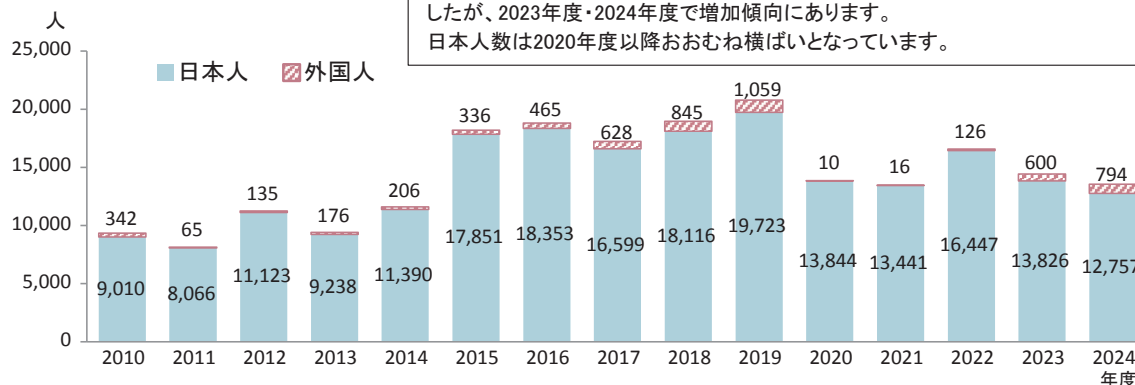
○直接的経済波及効果 = 参加者1人当たりの支出額×参加者合計

○間接的経済波及効果 = 直接的経済波及効果×直接的経済波及効果から間接的経済波及効果への誘発率

資料：(公財)郡山コンベンションビューロー

●観光案内所利用者件数

2019年度まで増加傾向にあった外国人数が2020年からのコロナ禍で激減しましたが、2023年度・2024年度で増加傾向にあります。
日本人数は2020年度以降おおむね横ばいとなっています。



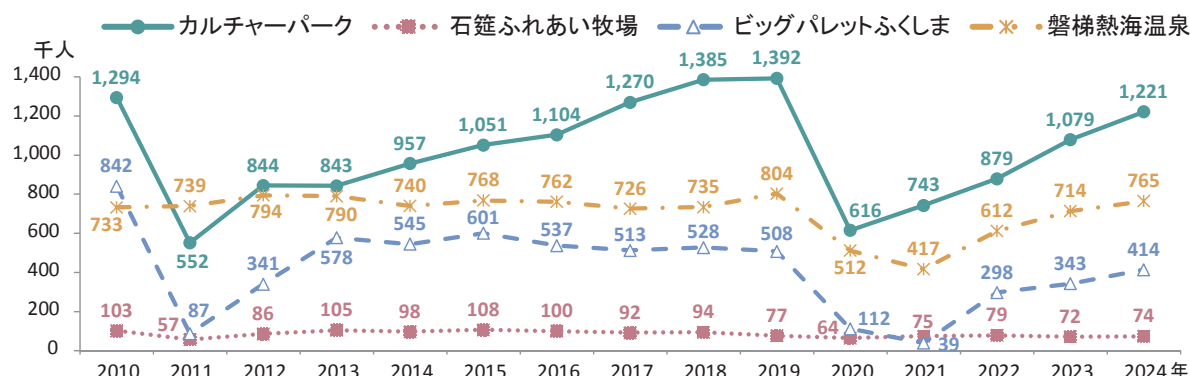
資料：観光政策課

●観光施設・観光イベント入込数

(その1)

カルチャーパークの入込数は2019年まで増加傾向で推移していましたが、コロナ禍の影響で2020年に大きく減少しました。その後は回復傾向が続いています。

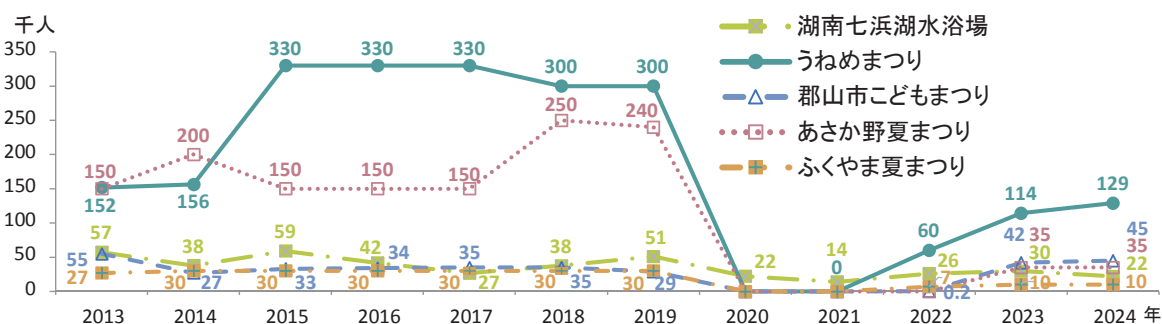
各年12月末現在



(その2)

うねめまつの入込数は2019年まで増加傾向で推移していましたが、コロナ禍の影響で2020年に大きく減少しました。その後は回復傾向が続いています。

各年12月末現在



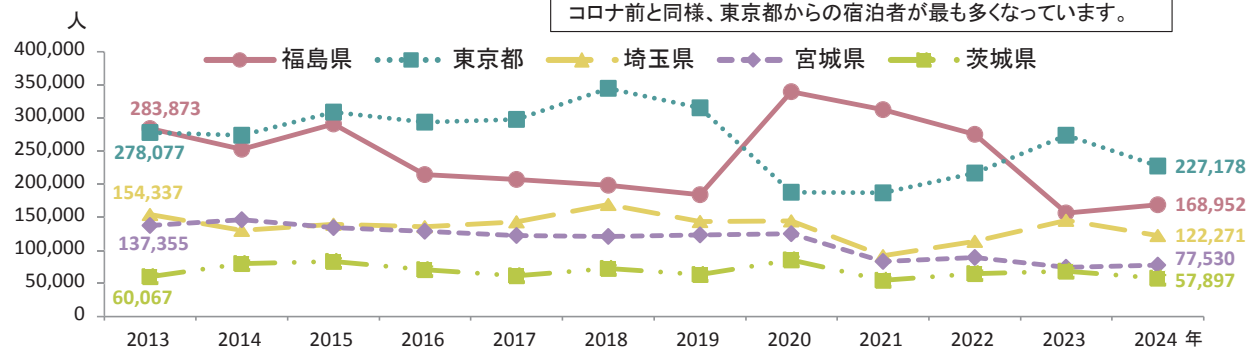
※2020、2021年のまつりは、新型コロナウイルスの影響により中止

うねめまつりは2022年より日本観光協会方式に基づくカウント方法で集計

資料：観光政策課

●居住都道府県別の延べ宿泊者数(日本人)

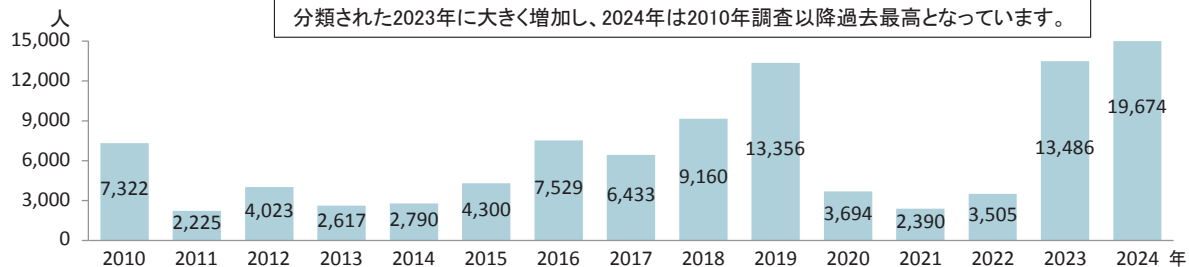
コロナ禍は福島県内の宿泊者が最も多かったですが、直近2年はコロナ前と同様、東京都からの宿泊者が最も多くなっています。



資料：RESAS（地域経済分析システム）－宿泊者分析－

●外国人宿泊者動向

外国人宿泊者数は2020年からのコロナ禍で大きく落ち込みましたが、感染症法上5類に分類された2023年に大きく増加し、2024年は2010年調査以降過去最高となっています。



※従業者数10人以上の宿泊施設

資料：観光政策課
観光庁宿泊旅行統計調査(参考第8表)